

講義コード	1318	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ホイクジッシュウ サン	(フリガナ)	ヤマグチ キョウト・クニヒロ カツヨ
授業科目名	保育実習Ⅲ(後半)	担当教員名	山口季音・国広勝代
英文授業科目名	nursery training Ⅲ		
基準年次(開講期)	4年次(通年)	履修形態	選択(保育士資格必修科目)
曜日/時限/講義室	火曜/2時限/保育実習室		
授業の方法	実習	授業の方法 (詳細情報)	保育所実習
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	施設保育、障害児保育、通園施設		
授業概要・目的	<p>保育実習Ⅰにおける児童福祉施設での生活体験を基礎として、さらに養護の実践を積み重ねることにより、施設保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。家庭と地域環境にともなう子どものニーズを理解して、子育て支援のための対応策を学び、援助能力を養う。また、援助計画の実践により、職務内容の理解、養護技術の習得に加えて保育士としての専門性を磨いていく。</p>		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所以外の児童福祉施設等の役割や機能について、実践を通して理解を深める。 ・家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護の必要性を理解し、支援のための知識、技術、判断力を身につける。 		
授業計画			
第1回			
第2回	【保育実習】		
第3回	保育所以外の児童福祉施設・その他の実習を行う施設として適当と認められる施設 ……………10日		
第4回			
第5回	≪事前≫		
第6回	・保育所実習にあたっての心構えを確認する(「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」を受講)		
第7回			
第8回	≪実習中≫		
第9回	・各施設の方針に従って実習を行う。		
第10回	・保育所実習担当教員による巡回指導を受ける。		
第11回			
第12回	≪事後≫		
第13回	・保育実習報告会で体験報告をする。		
第14回	・実習の自己評価と外部評価を比較検討し、自己課題を見つめる。		
第15回	・実習を振り返り、「保育実習報告Ⅱ」を作成する。		
教科書・参考書等	<p>≪参考書≫ 畠山倫子著『教育・保育・施設実習』三晃社</p>		
授業で使用する 機器等	なし。		
予習・復習への アドバイス	保育資格科目の内容を再度確認し、予習・復習に役立てること。		
履修上の注意・ 受講条件等	保育士資格必修科目。		
成績評価の基準等	<p>実習園の評価を基にしながら、実習日誌の記録、巡回指導時の学習態度で評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) レポート(70/100)</p>		
メッセージ	授業で学んだことを忘れず、緊張感をもって実習に臨むこと。		
オフィス・アワー	木曜4限		

その他